

## 国語「新聞を読もう」

5年国語「新聞を読もう」では、新聞のつくりや工夫について話し合い、実際に興味のある記事を読んで意見や感想を書く学習をしました。

新聞のそれぞれの面の構成、記事の書き方（見出し、リード文、本文へと次第に詳しくなる）、同じ出来事でも新聞によって取り上げ方が違うこと、「全国紙」と「地方紙」の違い、新聞記事の種類（政治、文化、スポーツなど）を一通り学習した後、実際に

いろいろな新聞を手に取り見比べてみました。見つけた記事をいくつかあげ、その中で自分の興味をもった記事をノートに貼り、感想を書きました。

全国紙と地方紙の違いとして「地方紙は地元であったことが書いてあり、全国紙では、外国のことや日本で誰もが知っていて、全国の人ができることが詳しく書かれている」「地方紙は東海地方のことが大きく前にのって、全国紙は大きく乗っているのが日本に関係すること」など気が付いたことを自分の言葉でまとめていました。

選んだ記事で最も多かったのは、野球やラグビー、陸上などのスポーツ関係でした。また、災害や政治、芸能など大きく扱われているものだけでなく、すみずみまで目を通し、小さな

記事にも関心をしめず児童もいました。難しい漢字や知らない言葉に苦戦する様子もありましたが、友達や担任に聞いたり、タブレットで調べたりしながら、記事の内容を捉えていました。瀬戸物祭に36万人の人が来たという記事を選んだ児童は「若い人たちにも瀬戸物は人気があるんだなど、この記事を読んで感じました」と感想を書いていました。



